

これまでの合併特例債の使い道と 今後の予定をお知らせします

市では、笠間市総合計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路の整備や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化や児童館の整備など市民の生活に身近な事業に活用しています。

現在、平成18年度から27年度までの10年間で約126億円を借り入れていますが、これまでの主な使い道や今後の予定についてお知らせします。

合併特例債とは

合併特例債とは、合併した市町村が、新市建設計画に基づいて行う新しいまちづくり事業の財源として借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

将来支払う返済金の70%が普通交付税によって国から補填される有利な借入金です。

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10か年度に限られ、市では、平成27年度までとなっていました。震災によって被災した特定被災地区については期限を延長することが可能となりました。



岩間駅東大通線

本市においても財政上有利な合併特例債を活用するため、期間を平成37年度まで延長しました。

これまでの主な使い道

平成26年度まで

平成26年度までは、旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などの事業を実施しました。

【道路整備事業】

○笠間小原線（桂町工区）、大淵飯田線、友部池野辺線、友部1級3号線（小原）、友部1級12号線（平町・大古山）、友部2級10号線（住吉・湯崎）、岩間八郷線、上町大沢線、南友部平町線、来栖本戸線

【都市整備事業】

○岩間駅駅舎・自由通路等、岩間駅東大通線、友部駅周辺整備

【学校施設等整備事業】

改築
○岩間中学校、笠間学校給食センター

耐震補強

○友部中学校、笠間小学校、岩間第三小学校体育館、笠間中学校、穴戸小学校、岩間第二小学校

【その他】

○まちづくり振興基金積立、児童館整備、笠間市民体育館大規模改修、認定こども園整備

平成18年度から平成26年度までの間に、これらの事業の財源として、合計109億5,750万円を借り入れしました。

平成27年度

道路整備では、笠間小原線等の整備を進めました。また、その他の事業として、認定こども園等の整備を実施しました。

【道路整備事業】

○笠間小原線（桂町工区）
5,450万円
○友部池野辺線（池野辺工区）
4,290万円
○来栖本戸線
3,210万円

【都市整備事業】

○笠間地区市街地浸水対策
6,610万円

○岩間駅東大通線延伸部
5,270万円

【学校施設等整備事業】

○笠間中学校武道場建設
1,020万円

【その他】

○認定こども園整備
9億1,070万円
○地域交流センター整備
1億7,600万円
平成27年度は、これらの事業などで合計16億3,600万円を活用しました。

今後の使い道

平成28年度

道路整備では、穴戸駅踏切拡幅等の整備を予定しています。また、その他の事業として、認定こども園などを整備します。

【道路整備事業】

○穴戸駅踏切拡幅
8,360万円
○南友部平町線
5,070万円

【都市整備事業】

○友部駅周辺整備（地区道路）
1億1,340万円
○岩間駅西地区整備
9,740万円

【学校施設等整備事業】

○笠間中学校武道場建設
2億4,460万円

【その他】

○認定こども園整備
6億150万円
○地域交流センター整備
4億2,390万円
○地域医療センター整備
3億2,490万円
平成28年度は、これらの事業などで約30億円の合併特例債の活用を予定しています。

現在まで進めてきた幹線道路の整備や地域医療センター、笠間公民館リニューアル整備などへの活用を予定しています。

【道路整備事業】

○来栖本戸線

1億6,920万円

○友部2級5号線(随分附)

1億720万円

【都市整備事業】

○友部地区(八雲)浸水対策

1億2,360万円

○友部駅周辺整備(地区道路)

2,770万円

【学校施設等整備事業】

○小学校校舎エアコン設置

1億4,990万円

【その他】

○地域医療センター整備

4億6,950万円

○笠間公民館リニューアル整備

4億4,880万円

○市民センターいわま整備

3億5,150万円

合併特例債は、非常に有利な財源ではありますが、借入金であることに変わりはありませんので、真に必要なものを厳選し、有効に活用していきます。



地域医療センター完成イメージ図



認定こども園(かさまこども園)

合併特例債活用事業

道路整備事業

(単位: 百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部1級12号線(平町~大古山)	H18~H21	919.7	424.3
岩間八郷線	H18~H21	521.3	273.8
大淵飯田線	H18~H22	587.9	289.9
友部池野辺線	H18~H22	550.7	268.9
上町大沢線	H18~H25	497.9	303.0
南友部平町線	H18~H30	1,248.9	737.3
来栖本戸線	H19~H30	1,198.0	557.4
その他の道路整備		4,930.8	2,364.4
小計		10,455.2	5,219.0

都市整備事業

(単位: 百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
岩間駅周辺整備	H18~H24	2,366.2	1,641.2
岩間駅東大通線	H21~H27	706.9	319.0
友部駅周辺整備(地区道路)	H26~H30	313.1	203.0
笠間稲荷周辺 まちづくり拠点整備	H28	185.1	91.7
その他の都市整備		1,166.7	714.9
小計		4,738.0	2,969.8

学校等整備事業

(単位: 百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
友部中学校	H18~H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20~H22	1,391.7	793.8
笠間学校給食センター	H23~H25	930.4	822.8
笠間中学校武道場整備	H27~H28	285.7	254.8
小学校エアコン設置	H28~H29	253.4	165.6
その他の学校等整備		887.1	563.7
小計		4,553.8	3,189.7

その他

(単位: 百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入(予定)額
まちづくり振興基金積立	H23~H26	1,780.0	1,691.0
地域交流センター整備	H26~H29	1,349.7	715.9
認定こども園整備	H26~H28	1,620.3	1,526.2
地域医療センター整備※	H27~H29	1,009.1	816.7
その他の事業		2,216.0	1,714.6
小計		7,975.1	6,464.4

※地域医療センターについては全体事業費約22億円のうち合併特例債対象額のみ記載しています

合計		27,722.1	17,842.9
----	--	----------	----------

○合併特例債起債可能上限額 約322億円

平成28年度末までの合併特例債借入(予定)総額
約156億円(まちづくり振興基金積立額含む)

○まちづくり振興基金への積立上限額 約26億7千万円

まちづくり振興基金への積立額 約17億8千万円
(積立上限額の約67%)
※積立額のうち合併特例債活用額 約16億9千万円

◎市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会において、これをすべて活用するのではなく、道路や学校の耐震化などの真に必要なものに活用するとしており、今後もこの方針を基本に、財政状況等と照らし合わせながら活用する予定です。